

— 秋の深大寺に響く「音の法要」 —

だいはんにてんどうえ 大般若転読会 と 特別儀式「深大寺 磬」お里帰り

700 年ぶりの音色の響演

深大寺は、令和 7 年 11 月 23 日（日/勤労感謝の日）に、600 巻におよぶ経本を空中に翻しながら祈願する『大般若転読会』を行います。

今年は、仏具「磬」が深大寺にお里帰りしたことを記念し、700 年ぶりに「磬」を打ち鳴らします。ダイナミックな法要の中に、「磬」の音色が響く祈りの空間、そして、歴史的にも貴重な瞬間をぜひご取材ください。

【開催概要】

日時：令和 7 年 11 月 23 日（日・祝）13:00～

場所：天台宗別格本山 深大寺（東京都調布市深大寺元町 5-15-1）

法要：大般若転読会 + 特別儀式（音具による祈り）

備考：メディア取材用撮影スペースあり



だいはんにてんどうえ

大般若転読会とは

約 600 巻に及ぶ「大般若経」を転読（ページを繰り広げ、声を発して読む作法）することで、読誦の功德を廣大に広める法要です。経巻を繰る音や僧侶の声が響き合い、荘厳で迫力ある「祈りの音空間」を生み出します。

今年だけの特別儀式「深大寺 磬」700 年ぶりの音色

今年は、大般若転読に加え、読経の合図などに打ち鳴らす仏具「磬」の音色を用いた特別儀式を実施いたします。

- ・ 鳴り響く音そのものを祈りとして届ける
- ・ 日常では耳にすることのない仏具の音が連なる

この一瞬にしか立ち会えない「音の法要」として、皆様に体感いただける特別な機会です。



<報道関係の方からのお問い合わせ先>

深大寺 広報担当：大川志保 TEL：080-3317-7920 MAIL：shihookawa@gmail.com

【深大寺「磬」の重要性】

磬とは、読経の間に、木魚のように^{しゅもく}撞木で打って鳴らす仏具。「深大寺 磬」は銅製で、幅約 25 センチ、高さ約 10 センチ、重さ約 1 キロ。表に 1 対のクジャクがかたどられている。裏には「武州深大寺 深沙王堂」「文永四年^{ひのとう}丁卯」などと文字が鑄造され、この年に深大寺で造られたことがわかります。

彫りが柔らかく、平安時代の特徴を備えているという。寺の開創の地に立ち、水神を祀る鎮守社の深沙大堂で使われたとみられています。

※鎌倉時代の「磬」は大変希少なものとされています。

▶ 鎌倉時代の年紀銘を持つ磬はごく僅かしか残されていない中で、文永 4 年（1267 年）の基準作として重要。

▶ 「深大寺」の寺名が記される最古の資料

▶ 文永 4 年に深大寺の深沙王堂があったという事実が分かる



※深大寺深沙王堂磬



※武州深大寺深沙王堂磬一面文永四年丁卯十月日

▶ 「深大寺 磬」は、経緯は不明だが寺を離れ、永らく神奈川県相模原市善勝寺^{ぜんしょうじ}（高野山真言宗）がお守りしていた。

▶ 数十年前より、両寺は対話を重ね、交流を続けてきた。善勝寺住職が担徒と話し合いを重ねた結果、令和 7 年 4 月 20 日の深大寺住職の晋山式で、「還帰（元にあった場所に戻す意）式」が執り行われ、深大寺に磬が戻ることとなった。 ※左：善勝寺^{かわくぼ ぜんりゅう} 川久保 禪龍 住職、右：深大寺^{ちやうどう こうしょう} 張堂 興昭 住職



▶ 文化財は、一度散逸してしまうと二度と戻らないため、深大寺 のこの磬は、“奇跡的に帰ってきた”ということ、市民の皆さまをはじめ多くの方々に知っていただきたい。

2025 年 11 月 22 日（土）～11 月 30 日（日） 「第 44 回 深大寺そばまつり」

新そばの季節、深大寺が結ぶご縁への感謝と縁結びの寺、深大寺への参拝者の良縁を願って「深大寺そば巡り」や「そば守観音供養祭」などが開催されます。

▶第 11 回「深大寺そば巡り」

深大寺そば組合加盟店全店舗制覇で、そば猪口プレゼント！

オリジナルの絵馬を購入し、各そば店を巡るイベントです。

絵馬は、むさし野深大寺窯にて限定 400 枚販売。

※詳細は、別紙ご参照ください



▶深大寺 物産展

11 月 29 日（土）、30 日（日）お寺の境内や参道に物産展が出店されます！調布市の姉妹都市である木島平村の野菜・地元の和雑貨・陶芸・木のおもちゃ・多肉植物・はちみつ、など深大寺ならではののお店を中心に賑わいを見せます。

※11 月 22 日（土）のみ、京都のお香屋さん「松栄堂」のワゴンカーが境内に出店！

※その他期間中の週末は、猿回しの催し物も開催予定。



▶そば守観音供養祭

11 月 29 日（土）11 時半～境内にて

地元のおそば屋さんの店主達が本堂の前で、そば打ちを実演します。できた蕎麦を「そば守観音」に献上し、そばへの感謝と成長を祈願する「そば守観音供養祭」が行なわれます。毎年沢山の人がおとずれ、装束でそばを打つという珍しい儀式となります。

また、この日には境内で献上そばを頂ける貴重なチャンスも！（要整理券）



※その他、調布市主催「[ゲゲゲ忍](#)」(11/18~31)、神代植物公園「[秋のバラフェスタ](#)」(~11/24) 開催

<報道関係の方からのお問い合わせ先>

深大寺 広報担当：大川志保 TEL：080-3317-7920 MAIL：shihookawa@gmail.com

秋の限定ご朱印について

そば祭りが行われる 11 月には、毎年を限定朱印をお授けしています。この機会にしか手に入らない限定の御朱印となりますので、ぜひ買い求めください。

※数に限りがあります。無くなり次第終了となります。

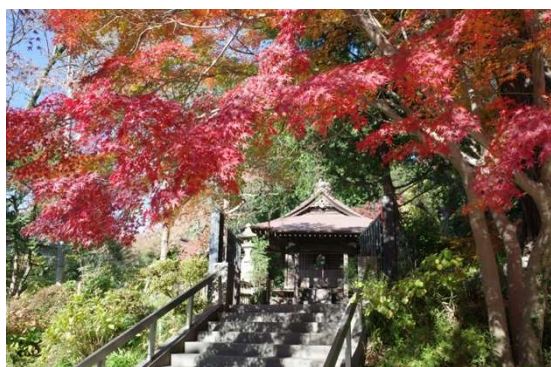
※詳細はホームページや SNS をご確認ください。



秋の深大寺

この時期の深大寺は、真っ赤な紅葉が鮮やかに色づき、多くの参拝者で参道・境内は大変な賑わいとなります。秋の特別な法要・行事・催し物など目白押しとなりますので、ぜひ多くの方にお楽しみ頂けたらと思います。

★お隣の神代植物公園では、11月24日（月）まで[秋のバラフェスタ](#)実施中！



撮影：2024 年秋

東京 調布市 深大寺について

東京都調布市にある約 1300 年の歴史を持つ、天台宗別格本山の寺院。都内では浅草の浅草寺に次ぐ古刹。隣接する都立神代植物公園とあわせて、武蔵野の自然に囲まれた美しい散策地です。また、この地は湧き水が多く、江戸時代より名物の「深大寺そば」の店舗が並び、情緒ある風景が広がります。

東日本最古の国宝仏である「釈迦如来像」（2027 年、国宝安置「白鳳院」竣工予定／建築：隈研吾氏）や、東京都指定有形文化財である日本最大の肖像彫刻「元三大師像」（次回御開帳は 2034 年予定）など多くの文化財なども所有しており、新宿から 40 分ほどとは思えない、自然豊かで落ち着いた雰囲気のある場所として多くの観光客が足を運びます。

天台宗別格本山 深大寺

所在地：東京都調布市元町 5 丁目 15-1

山主：張堂興昭

HP：<https://www.jindaiji.or.jp/>

X：<https://x.com/JindaijiT>

Instagram：https://www.instagram.com/jindaiji_temple_official/?locale=ja_JP



<報道関係の方からのお問い合わせ先>

深大寺 広報担当：大川志保 TEL：080-3317-7920 MAIL：shihookawa@gmail.com